

今年の龍野学は!

4月のけいろうタイム(総合的な学習の時間)の初日に、子どもたちとともに、学習の計画を立てました。それぞれの学年の単元名とおもな学習の概要は次のとおりです。

(1) 3年生 「学校のれきし なぞときたんてい」

今年は龍野小学校の開校150周年(7月27日が記念日)です。そこで、子どもたちは、小学校の知らないことを調べ、分かったことをカルタにしたいという思いをもっています。これまでに「二宮金次郎の陶像」や「カラタチとアゲハ」などを調べました。今は「三木露風」について調べています。



(2) 4年生 「見に来て!龍野感げき城」

龍野城に関することについて調べ、お客様が感激するような対話劇(ペープサートを用いる)を上演したいという思いをもっています。これまでに龍野城の御殿をはじめ、上屋敷、武家屋敷、龍野神社などを見学しました。そこから得た情報をもとに脚本をつくり始めているところです。(左の写真は上屋敷の取材の様子です。)

(3) 5年生 「見て楽しむ!龍 show you~名物リポーターへの旅~」

江戸時代、龍野城主の脇坂家が保護したのが醤油醸造。5年生の子どもたちは、淡口醤油歴史資料館や末廣醤油などを見学し、醤油に関する記事を作成しているところです。取材対象を重伝建地区のお店に広げ、おすすめパンフレット「龍 show you」を発行予定です。

(4) 6年生 重伝建ってなんすか?

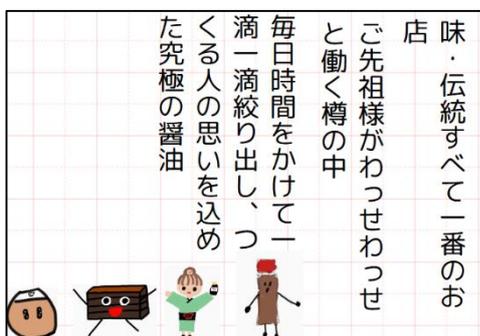
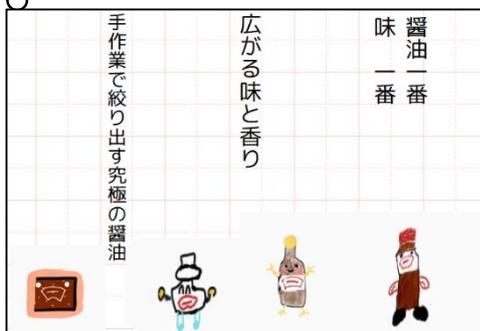
~タイムトラベラーの私たちが教えます~

重伝建地区を歩き、子どもたち自身が感じた魅力をショート動画で紹介します。「うだつ」や「瓦」をはじめとした建物に注目する子、店に注目する子など様々で興味深いです。紹介したいテーマが同じ子でチームを組み、絵コンテを作成し、取材・編集を進めているところです。(右の写真は、テーマを決めるための「まち歩き」の様子です。)



…今回は、3年生と5年生の活動を紹介します…

[5年生] 末廣醤油の見学を終えて



5月に末廣醤油を見学しました。5年生の子どもたちは、見学して分かったことをキャッチコピーのような短い言葉で表す学習に取り組みました。まず心に残った3つの場面を出し合うと「のれん」、「蔵」、「手作業の様子」となりました。そして、それぞれにコメントをつける作業をし、グループごとに整理しました。



紙面の都合上、グループでできた作品を2つ紹介したいと思います(左写真)。例えば、「手作業で絞り出す究極の醤油」という文には、見学で見ていただいた手作業での工程が重なります。また、「ご先祖様がわっせわっせと働く樽の中」の文は、熟成する様子をうまく擬人法を用いて表現しています。

見学で感じたことを国語の学習と関連付けながらうまく表現する子どもたちに感激しました。

[3年生] 三木露風を調べよう



霞城館での取材(左写真)を終えた3年生の子どもたちは、三木露風の生い立ち、展示してあった十字架など、様々なことに関心を持ちました。そこで、同じ関心をもつ子でチームを組み、さらに探究を進めています。2つのグループの様子を紹介します。

ひとつは、校歌チームの会話です。

「三木露風さんがつくった校歌って、一番が自然、二番が歴史とか文化、三番が学校のことだね。」

「だって小宅小学校も誉田小学校も龍野小学校と同じだったもん。」

このような会話が学校図書館の一つのテーブルから聞こえてきました。みんなは、「三木ろふうはほかの学校の校歌もつくっているのかな」という問いを立て、近隣の小学校の校歌を調査する過程で歌詞に隠された共通点を見つけていたのです。

もうひとつは十字架に関心をもったチームです。このチームは、霞城館の展示で三木露風の遺品に十字架を見つけ、それに関心をもった子どもたちが調査をしています。学校図書館の資料に「トラピスト修道院」の写真を見つけ、さらにネット検索によって、「露風さんが『パウロ』で、奥さんは『モニカ』だった。」と目を輝かせながら教えてくれました。

先日は「三木露風生家に行きたい。」ということで、生家を訪問しました(右写真)。また新たな発見があったようです。3年生の子どもたちの探究心はすばらしいですね。

